

山村暮鳥・吉田加南子・木坂涼『空の詩 三篇』 テスト練習問題と過去問

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「雲」「朝」「魚と空」の作者を、それぞれ漢字で答えなさい。

雲：

朝：

魚と空：

問2 「雲」の詩では、雲に対して人間のように「おうい」と呼びかけている。人間以外のものを人間のように例える表現技法を何というか、漢字三字で答えなさい。

問3 作者は、雲がどのような様子で空を進んでいると感じているか。詩の中から八字で抜き出さなさい。

問4 この詩に描かれている「空」はどのような空だと想像できますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：雨が降りそうな、どんよりと暗い空。

イ：冷たい風が吹きすさぶ、冬の厳しい空。

ウ：遠くの地名まで見渡せるような、広大で晴れ渡った空。

エ：夕焼けで真っ赤に染まった、少し寂しい空。



問5 「空の遠さが屋根にふれている」とは、どのような情景を表していると考えられますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：背の高い建物が、空を突き破ってそびえ立っている様子。

イ：果てしなく広くて遠い空が、自分のすぐ身近にある屋根の真上にまで迫ってきている様子。

ウ：屋根の上に登れば、すぐに空に手が届きそうな様子。

エ：朝もやがかかって、空と屋根の区別がつかなくなっている様子。

問6 「——まじわることなく」という表現からは、どのようなことが読み取れますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：空と人間の世界は、どれだけ近づいても決してひとつになることはないという、自然の圧倒的なスケール感。

イ：屋根が邪魔をして、空の景色を十分に楽しむことができないという不満。

ウ：朝の時間が短すぎて、空をゆっくり眺める暇がないという焦り。

エ：鳥たちが空と屋根の間を行き来している自由な様子。

問7 第二連の「波は海のやぶれ目を ごまかしている。」という表現に使われている表現技法を漢字三字で答えなさい。

問8 「海のやぶれ目」とは、具体的にどのような状態を表していますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：海底で地震が起きて、海面が割れた状態。

イ：海に浮かぶゴミが邪魔をして、水面が汚れた状態。

ウ：鳥が急降下して海面に突っ込み、魚を捕らえた瞬間にできた水しぶきや波紋。

エ：太陽の光が強すぎて、海の水が蒸発してしまった状態。



問9 第三連の「魚は海を脱げでる。初めてそしてたった一度だけ。」という表現には、普段の言葉の順序を逆にする表現技法が使われています。これを何というか、漢字三字で答えなさい。

問10 魚が海を脱げでるのが「たった一度だけ」なのはなぜですか。その理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：空を飛ぶのが怖くて、もう二度と海から出たくないと思ったから。
- イ：鳥に掴み出されて、この後食べられてしまうから。
- ウ：鳥と友達になり、ずっと空で暮らすことに決めたから。
- エ：波が「海のやぶれ目」を閉じてしまい、海に戻れなくなったから。

問11 第四連の「もうひとつの空へのまれる。」の「もうひとつの空」とは、具体的に何を表していますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：宇宙空間
- イ：鳥の口の中
- ウ：天国
- エ：海底



山村暮鳥・吉田加南子・木坂涼『空の詩 三篇』 テスト練習問題と過去問（解答）

問1 雲：山村暮鳥

朝：吉田加南子

魚と空：木坂涼

【解説】三人の作者名はテストでよく出るので、漢字で正確に書けるようにしておこう。

問2 擬人法

【解説】雲をまるで友達のように扱い、親しみを込めて話しかけているね。

問3 馬鹿にのんきそう

【解説】「馬鹿に」とは「とても、ひじょうに」という意味だよ。広大な空をゆっくりと流れる雲を見て、とてもリラックスしているように感じたんだね。

問4 ウ

【解説】雲が「ゆうゆうと」進んでいけるような、広くて明るい大空が目浮かぶね。

問5 イ

【解説】「空の遠さ」は圧倒的な大自然、「屋根」は私たちの身近な日常を表しているね。スケールの全く違う二つのものが、ぴたっと接しているように感じられる、静かで澄んだ朝の情景だよ。

問6 ア

【解説】ふれているように見えても、決して交わることはない。人間の日常と、果てしない自然との間にある明確な境界線を描いているんだね。



問7 擬人法

【解説】波は人間ではないので「ごまかす」ことはできないけれど、まるで波が意志を持って水面の乱れを隠しているように表現しているね。

問8 ウ

【解説】鳥が海に飛び込んで「バシャッ」と水面が割れた跡を、すぐに波が寄せてきて元通りにしてしまう、自然界の一瞬の厳しさを描いているよ。

問9 倒置法

【解説】普通の順番なら「魚は初めて、そしてたった一度だけ海を脱げる。」となるけれど、順番を逆にして「たった一度だけ」を最後に持ってくることで、この出来事の衝撃を強く印象づけているね。

問10 イ

【解説】魚が自分の意志でジャンプしたのではなく、鳥の狩りによって命を落とす瞬間だから「たった一度だけ」なんだね。

問11 イ

【解説】鳥に捕まり、空高く舞い上がった魚が、鳥の口の中へと飲み込まれていく様子を「もうひとつの空」と表現しているんだ。

